

このコーナーでは、農業のちょっとしたコツを、市の営農指導員からお知らせします。

営農指導員のワンポイントアドバイス

営農指導員 若山 謙

果菜類の定植・追肥について

5月は果菜類の定植時期です。よい苗を準備し、適切な管理を行い、高品質・高収量を確保しましょう。

苗の準備

果菜類の苗は、平均気温が15℃以上になり、晩霜の恐れがなくなつた5月上中旬ごろに定植します。

苗を選ぶ際の注意点

- 双葉がしっかりととして、本葉が肉厚で葉色が濃いこと
- 節の間が詰まって茎が太いこと
- 病害虫が付いていないこと（特に葉の裏）

定植時のポイント

- ▼ 地温の確保が重要。定植数日前からマルチをかけ、地温を高めることで、活着（しっかりと根付くこと）や生育がよくなる。
- ▼ 定植は晴れた日の午前中に。
- ▼ 植え穴へたっぷり水をやり、根鉢（根と土の固まり）を崩さないように丁寧に植え付ける。土を軽くかけ株元を押さえる。
- ▼ 深植えは水が溜まりやすく、病気が活着不良の原因になるため注意。定植の深さは鉢土の表面が見える程度か地表よりやや高めに。

主な果菜類の追肥

果菜類は生育期間が長いため、追肥（生育に応じて養分を追加で与えること）が不可欠です。

※追肥時期は参考です。草勢（茎葉の生長の勢い）により施用時期、量を加減しましょう。

【ピーマン】

定植10日後に1回目、その後2週間おきに追肥する。1回につき、チッソ成分で10平方メートル当たり20〜30グラムを株間に穴肥（穴を開けその中に肥料を施す）で施用。

【ナス】

第1果の収穫直前に1回目、その後2週間おきに追肥する。1回につき、チッソ成分で10平方メートル当たり30〜40グラムを株間に施用。

【キュウリ】

果実肥大期に1回目、その後1週間おきに追肥する。1回につき、チッソ成分で10平方メートル当たり20〜30グラムを株間に穴肥で施用。

【トマト】

1回目は第3果房開花始めの時に、その後は奇数段が開花した時に追肥する。1回につき、チッソ成分で10平方メートル当たり30グラムを株間に穴肥で施用。

問い合わせ

農業振興課農業振興係
0824・73・1131



庄原が

好き



山内てごおし隊 寺西 玉実さん



山内てごおし隊 藤田 典久さん

このコーナーでは、人と人のつながりを大切にしながら、自発的なまちづくりに取り組む皆さんをシリーズで紹介します。

山内空き家片付け「てごおし隊」

山内自治振興区は、市の空き家バンク制度などを活用しながら、地域の空き家と移住希望者の橋渡しを行っています。その活動の中で空き家所有者が家財道具の片付けに苦労していることを知り、お手伝いしなければと「てごおし隊」を立ち上げました。

「てごおし隊」を利用した人は「半年以上かかると思っていたのに、4日で片付いた」「空き家を見学する人の目の色が変わった」ととても喜んでいました。

移住する人と心でつながりたい

かつて空き家に住んでいた人の思い出話に花が咲いて、片付け作業がストップしてしまうこともあります。

その時間も大切ではないでしょうか。空き家の片付けを通して地域の皆さんが楽しくつながり、新しく移住する人にも、その輪に加わってほしいと思っています。

#庄原が好き



hibanbabanbanban (ヒバンバ バンバンバン) さんの投稿



郷土料理のおうちごはん

SNSの投稿募集中
「#庄原が好き」で投稿!

問い合わせ

自治定住課定住推進係
0824・73・1257